

占星術でみる四大元素占い



20240204



エリー



目次

占い方と見本	1
図解	5
補足 1	7
補足 2	8
調べてほしい人へ	10
補足 3	11

占い方と見本

●手順

「ホロスコープ 無料」で検索して、天体(太陽、月、水星、金星、火星、木星、土星、天王星、海王星、冥王星)がどの星座にあるか調べます。

火(牡羊座☑、獅子座☑、射手座☑)

土(牡牛座☑、乙女座☑、山羊座☑)

風(双子座☑、天秤座☑、水瓶座☑)

水(蟹座☑、蠍座☑、魚座☑)

0、1は弱い

2、3は普通

4以上は強い

タイプとして見る場合は、3以上をさす。

A、現象に関心があり、感覚的に理解できない(完成イメージなし)

風=言葉にする。理由を具体的に考え続ける。

B、人に関心があり、感覚的に理解できる(完成イメージあり)

水=共感する。気持ちを察する。

C、現象に関心があり、感覚的に理解できる (完成イメージあり)
土=段取りする。なんとなくできる。

D、人に関心があり、感覚的に理解できない (完成イメージなし)
火=目的を具体的に定める。決断し続ける。

感覚的に理解できないと、少しずつ具体的にする。過程を経ているので再現できる。

感覚的に理解できると、いきなり答えが分かる。過程を経ないから説明できない。再現性なし。

現象に関心があると、(風) 情報を集めて、(火) 決断する。

人に関心があると、(水) 期待に応じて、(土) 形にする。

●例題 1

エリー (風タイプ)

火 1、決断できない

土 1、真似できない

風 7、理解したことを誰にでも分かるように説明できる

水 1、分からない感情がある

火 2、迷いやすい

土 3、なんとなくできる

風 4、分かってる人には伝えられる

水 1、期待に応えない

火 3、決断できる

土 3、手段がわかる

風 2、根拠が曖昧

水 2、期待が曖昧

火 3、決断できる
土 3、手段がわかる
風 3、理由が言える
水 1、気持ちが分からない

火 1、目的が曖昧
土 4、手段が多彩
風 2、根拠が曖昧
水 3、期待がわかる

●例題 2

YOSHIKI さん (土と水タイプ)

火 1、迷いやすい
土 4、クオリティが高いものを作る
風 2、説明が苦手
水 3、期待されてることがわかる

土と水が強い人は感覚的。自分ではできるが、教えるのが苦手。

もし土と風が強い人なら、具体的に説明する。自分もできるし、教えるのが得意。

HYDE さん (風と水)

火 1、決断が苦手
土 1、一度で作れない
風 5、説明できるので再現性が高い
水 3、期待がわかる

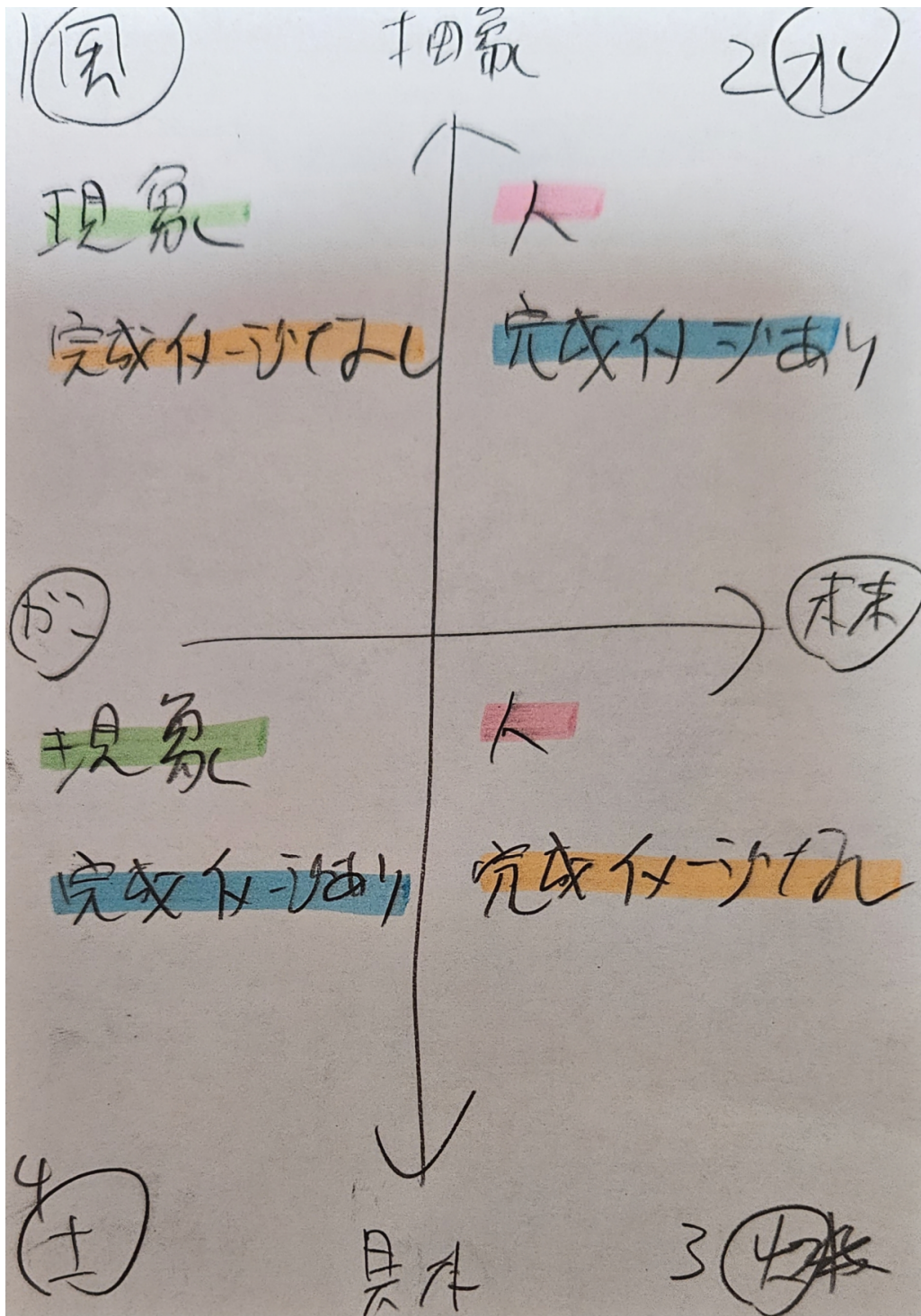
人が喜ぶものは完成形が浮かんでいるが、実現する道のりはトライ&エラーで試行錯誤の連続。決して器用な方ではない。しかし一度できたことは他人に教えることができる。

●感想

数人調べだけで、エリーの偏りが際立っている。

HYDE さんに親近感を覚えるのは、バランスが似ているからかも。

图解



100007012.jpg

補足 1

あいて「自己分析のツールにアスペルガーを使うと誤解を招くからやめた方がよい」
わたし「四大元素にします」

ざっくり調べた範囲では、7の人いない。

わたし「もしかしてエリーはすごく変わっているのでは？」
あいて「うん」
わたし「でもあなたも風が強いタイプだね？」
あいて「そうだが、エリーの風に吹き付けられて飛ばされそうになってるのを耐えてる」

エリー竜巻並みに激しいらしい！
(° Q °)

土と水は、写真を撮るように一瞬で理解する。
説明できないけど、正解を知っている。的確。

風と火は、絵を描くように少しずつ形にして行く。
実践することで、結果的に説明できるようになるけど、最初の段階ではざっくりしてる。

事象は、周りの状態に関心がある。経緯ややり方など。

人は、相手や自分に関心がある。水なら気持ち、火ならやりたいこと。

補足 2

感覚的というのは、「リンゴ」の写真が見えてる状態。

だから「車」を出されたら、「全然違う！」と判断できる。

「みかん」を出されたら、「カテゴリーは同じだが、それではない」という。

でもリンゴを見たことがない人に、言葉で説明することはできない。分かってるけど、言えないのだ。

「完成図がない」というのは、リンゴの絵が見えてない状態だ。

触ってみて、「丸い」。

匂いを嗅いで、「美味しそう」。

ぼんやり眺めて、「赤い」。

みたいに各要素を1つずつ集めていく。

キーワードから想像する。

だから「丸くて、赤くて、美味しいものだよ」と説明できる。

この2つの違いがわかったのは、わたしが完成図が見えてない風タイプで、

YOSHIKI さんが完成図が見えている土と水タイプだから。

頭のなかに理想とする完全な曲のイメージがあるけど、つくろうとすると違っている。

近づけるために努力してる。

そうだったから。

たいして風と水の HYDE さんは、

「この方がお客さんは喜ぶだろう」

「期待に応えたい」

という。

水。

でも「曲は何度も作り直して完成させる」「アレンジでかなり最初のデモから変わった」

と言っていたから。

風。

「実践してわかったことしかやらない」とも。風で得たノウハウ使うのね。

調べてほしい人へ

バランスなので、

火0は、

火1、2は、

火3、4は、

火5以上は、

各要素の説明を全てしても、総合的なイメージは持てないと思う。

占いに精通してたらわかるが、前提知識のない人は、この説明だけでは分からない。

知りたい方はココナラで500円で「天体のバランスに特化した占いをします -得意なこと、苦手なこと、知りたくないですか?-」というサービスを始める予定なので、ご利用ください。

補足 3

10個の天体の配置で決まるから、トレードオフの関係にある。

3232 でバランス型なので、何でもそこそこできるけど、突出してない。平凡が悩み。

1171 で特化型だから、できないこと、分からないことがあって苦労するが、突出している。変わり者と言われる。

占星術でみる四大元素占い20240204

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
